

【表4】平成16年度決算（一般会計）の歳出内訳（前年度比較）

費目	平成16年度	平成15年度	増減
総務費	9.3億円	13.6億円	4.3億円
民生費	55.4億円	52.6億円	2.8億円
衛生費	11.2億円	28.4億円	17.2億円
商工費	3.4億円	4.2億円	0.8億円
土木費	33.8億円	33.3億円	0.5億円
消防費	1.1億円	1.3億円	0.2億円
教育費	15.3億円	26.8億円	11.5億円
公債費	38億円	28.5億円	9.5億円
給与費	45.9億円	47.8億円	2.0億円
その他	4.1億円	3.9億円	0.1億円
合計	217.5億円	240.5億円	23.0億円

その他には、議会費、労働費、農林水産業費、災害復旧費が含まれています。
表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げ額が一致しない箇所があります。



まち紹介パンフレット『きらり登別』

歳出の決算内容を見てみましょう（【表4】【グラフ4】参照）。
総務費では、新規の事業としてまち紹介パンフレット作成や電子計算機運用処理委託などを行いました。

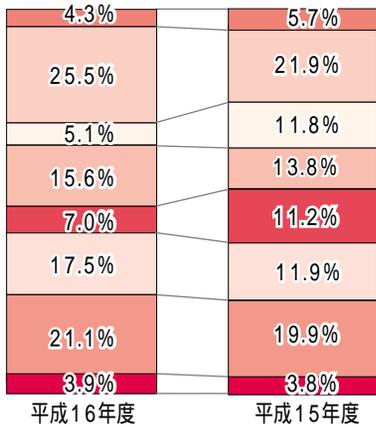
歳出の内容



登別保育所

民生費では、登別温泉保育所の移転や登別・富浦保育所の施設の老朽化に対応するため、これらの保育所を統廃合するとともに、幼保一元化モデル事業を行う新たな登別保育所の建設に着手しました。

【グラフ4】一般会計歳出全体に占める割合



- 総務費
- 民生費
- 衛生費
- 土木費
- 教育費
- 公債費
- 給与費
- その他

衛生費をみると、前年度と比較して決算額が17億2千万円も減額となっています。これは火葬場建替事業や旧清掃工場ストックヤード化等事業が平成15年度をもって終了したことなどによるものです。
土木費では、亀田記念公園整備事業や市営住宅（幌別東団地）建替事業を継続しているほか、北海道から受託して新たに道道上登別室蘭線柏木通の改良事業に着手し、このうち用地買収と移転補償などを行っています。
教育費では、健康づくりやリラクゼーションなど、複合的な機能を持つ健康増進施設としての市民プールの建設を平成15年度に引き続き行いましたが、主要な工事を平成15年度に終えたことから、大幅な減額となっています。

財政用語解説③

- 【議会費】 議会の活動に使われる費用。
- 【総務費】 全般的な管理事務、徴税、選挙、財務事務などに要する費用。
- 【民生費】 市民の生活と社会生活の保障（社会福祉等）に使われる費用。
- 【衛生費】 病気の予防やゴミの処理など、市民が健康で衛生的な生活を送るために使われる費用。
- 【労働費】 職業訓練の充実や失業対策などに使われる費用。
- 【農林水産業費】 農業、漁業、林業の振興に使われる費用。
- 【商工費】 商業や工業の振興、観光事業などに使われる費用。
- 【土木費】 道路、公園の整備や市営住宅の建設などに使われる費用。
- 【消防費】 消火活動や救急救命などに使われる費用。
- 【教育費】 小・中学校や幼稚園の運営、学校建設など、教育のために使われる費用など。
- 【公債費】 道路や学校などを造るために借り入れたお金の返済に充てる費用。
- 【給与費】 人件費などに要する費用。
- 【災害復旧費】 台風などの災害によって生じた被害の復旧工事などに使われる費用。